



2021年5月7日

各 位

会社名 ユニチカ株式会社
代表者名 代表取締役社長 上埜 修司
(コード番号 3103 東証第一部)
問合せ先 経営企画部長 森田 誠宏
(TEL 06-6281-5695)

通期業績予想の修正及び事業用資産の減損損失、関係会社株式評価損の計上に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2021年2月5日に公表しております通期業績予想を下記のとおり修正するとともに、2021年3月期末において、連結財務諸表で事業用資産の減損損失、個別財務諸表で関係会社株式評価損の計上を行うこととしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期連結業績予想の修正について（2020年4月1日～2021年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2021年2月5日発表)	110,000	5,200	3,500	3,800	円 銭 60.33
今回修正予想 (B)	110,000	6,000	5,300	3,800	60.33
増減額 (B-A)	—	800	1,800	—	
増減率 (%)	—	15.4	51.4	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	119,537	5,467	3,153	Δ2,158	Δ43.01

修正の理由

通期業績につきましては、前回発表予想に比べて、採算性の向上およびコストダウンにより営業利益が増加、さらに急激な円安ドル高への為替変動に伴い為替差損益が改善し、経常利益が増加する見込みです。なお、事業用資産の減損損失を計上する見込みですが、経常利益の好転や投資有価証券売却益などの計上を見込み、加えてその他の特別損失が減少する見込みのため、親会社株主に帰属する当期純利益の予想の変更はありません。

2. 事業用資産の減損損失（連結）および関係会社株式評価損（個別）の計上について

① 減損損失（連結）の計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社及び当社グループの保有する固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、当社繊維事業セグメントの連結子会社の大阪染工株式会社が保有する固定資産および当社機能資材事業セグメントの産業繊維事業が保有する固定資産について、約 34 億円の減損損失を連結財務諸表で計上する見込みです。

② 関係会社株式評価損（個別）の計上について

大阪染工株式会社が保有する固定資産の減損損失計上に伴い、当社の個別財務諸表において約 15 億円の関係会社株式評価損を特別損失として計上する見込みです。なお、関係会社株式評価損は連結決算上消去されるため、連結財務諸表に与える影響はありません。

<業績等の予想及び計画に関する注意事項>

本資料における業績等の予想及び計画の将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等の結果は、今後の様々な要因により、業績等の予想及び計画と異なる可能性があります。

以 上